

# ふくら

2024年  
夏号

## 通信



こんにちは。2024年ふくら通信夏号です。  
梅雨の季節ですが、6月の時点で30度を超える日があったりと近年、夏の季節が長くなっているような気分になりますね。水分補給等しっかり行い利用者様もスタッフも熱中症対策をしながら日々楽しく安全に療育したいと思います。  
この暑い夏も楽しく過ごしてもらえよう、夏祭りをはじめ夏ならではのイベントの企画・準備を進めております♪  
どうぞよろしく願い致します。

## 代表コラム

株式会社FUKURA 代表取締役 須田 祥子

### 【ふくら渚】

つくばみらい市の事業所『ふくら翼』が定員いっぱいになり今年の5月から2階部分にて2業所目の『ふくら渚』を開設いたしました。  
医療依存度の高い方が多い事業所ですが、渚にきらめく光のように、笑顔あふれる場所にしたいと願っております。



### 【円安と国力の低下】

今日本ではスタグフレーションという現象が起こっています。収入は上がり物価だけが高騰していくという不幸な社会現象です。円安が進んだことで輸入品の値段が高騰し自国生産率の低い日本人の生活そのものに大きな打撃を与えております。なぜ円安が起こっているか。これは国力が衰退しているからと言われております。30年間、日本人の平均年収は変わっていません。それどころか若干下がっているくらいで、先進国でこのような現象はありえないことです。オーストラリアは2.5倍になっておりマクドナルドの時給は2500円です。アメリカでは、ウエイトレスの平均月収は60万円だそうです。日本はいつの間にか、先進国から外れかけているのかもしれませんが、国の生産性が下がっているのにも関わらず、政府はお金のバラマキをし続けています。はたして、それが本当に国をよくしていくことにつながるのかと心配になっている人も数多くいることと思います。日本人は大学に入るために奨学金を借りると、長い年月をかけて返済していきます。一方で日本には8万人の留学生が来ますが、その人たちに毎月145,000円の返済不要の奨学金が国から支払われ交通費と家賃の補助まであります。他の国の若者に手を差し伸べる余裕のある時期もあったかもしれませんが、今や若者たちの貧困が問題となっており、自国の未来を支える日本の若者たちを応援していくことが必要ではないでしょうか。経済状況は変わり、GDPも下がりつづけている今、日本の国力を高め、未来を守っていくための見直しが必要になっているかもしれないと感じております。皆さんはいかがお考えでしょうか？国際状況や政治にも関心を寄せて自分ごととして考えていく姿勢が大切なのではないかと思っております。

